

3月1日(水)～7日(火)は 子ども予防接種週間 です

健康づくり課 健康係 (TEL 64-1515)



計画的に予防接種を受け、感染症を未然に防ぎましょう。予約が必要ですので、各医療機関にお問い合わせください。接種の際は、母子健康手帳を必ず持参ください。

予防接種名	対象者	接種間隔および接種回数	チェック	
ロタウイルス ※1	ロタリックス	生後6週から生後24週まで	27日以上の間隔をあけて2回	<input type="checkbox"/>
	ロタテック	生後6週から生後32週まで	27日以上の間隔をあけて3回	<input type="checkbox"/>
BCG	生後1歳未満	1回	<input type="checkbox"/>	
B型肝炎	1回目	生後1歳未満	1回	<input type="checkbox"/>
	2回目		1回目終了後、27日以上あけて1回	<input type="checkbox"/>
	3回目		1回目終了後、139日以上あけて1回	<input type="checkbox"/>
ヒブ(インフルエンザ菌b型)	生後2か月～5歳未満	接種を開始した月齢によって異なります	<input type="checkbox"/>	
小児用肺炎球菌			<input type="checkbox"/>	
四種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ)	1期初回	生後3か月～7歳半未満	20日～56日あけて3回	<input type="checkbox"/>
	1期追加		1期初回(3回)終了後、1～1年半後に1回	<input type="checkbox"/>
日本脳炎 ※2	1期初回	生後6か月～7歳半未満	6日～28日あけて2回	<input type="checkbox"/>
	1期追加		1期初回(2回)終了後、1年後に1回	<input type="checkbox"/>
麻しん風しん混合(MR)	2期	9歳～13歳未満	1回	<input type="checkbox"/>
	1期	1歳～2歳未満	1回	<input type="checkbox"/>
水痘(水ぼうそう)	2期	小学校就学前の1年間(平成28年4月2日～平成29年4月1日)	1回	<input type="checkbox"/>
	1期	1歳～3歳未満	1回目終了後、3か月以上あけて1回	<input type="checkbox"/>
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	2期	11歳～13歳未満	1回	<input type="checkbox"/>
子宮頸がん予防(HPV) ※3	サーバリックス (2価ワクチン)	小学6年～高校1年相当 (平成18年4月2日～平成23年4月1日生まれの女子)	3回 (接種間隔はワクチンの種類によって異なります)	<input type="checkbox"/>
	ガーダシル (4価ワクチン)			

※1. ロタウイルスワクチンの初回接種は、生後6週から生後14週6日までの接種が推奨されています。15週以降の初回接種はおすすめしません。

※2. 日本脳炎ワクチン接種の積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの人

も19歳までは定期接種の対象となります。

※3. 子宮頸がん予防(HPV)ワクチン接種の積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれの女子は、令和4年4月1日～令和7年3月31日までの3年間は定期接種の対象となります。

きれいな歯のぼくたち・わたしたち

3歳児健診で虫歯がゼロだったお子さんです。



ほのか 江口 穂乃花 ちゃん
(高田町)



のぞみ 大木 希心 ちゃん
(瀬高町)



さやね 島津 紗子 ちゃん
(瀬高町)



しづき 田中 史月 ちゃん
(高田町)



わく 中島 和玖 ちゃん
(瀬高町)



なほ 中野 七緒 ちゃん
(瀬高町)



ゆり 松尾 優凜 ちゃん
(瀬高町)



いおり 吉田 伊織 ちゃん
(瀬高町)

掲載希望者は、写真を3歳児健診時または市役所(本庁)子ども子育て課へお持ちください。

健康づくり課 子育て世代包括支援センター係 (TEL 64-1520)

子どもたちも学んでいます。「One Health」



企画振興課 企画係 (TEL 64-1504)

開小 1月19日、開小学校で全児童を対象に、ワンヘルスの周知活動を行っている(一社)ワン・ヘルス・クリエイツ理事長の芝田良倫さんを講師に迎え、ワンヘルスに関する授業が行われました。芝田さんは自身の経験を基にワンヘルスの考え方について講演。3匹の「ワンヘルス犬」との交流も行われました。

子どもたちの感想



海谷 瑛介さん
1つの健康だけでなく自然も守っていくことがワンヘルスの意味だと分かりました。動物や植物も人間と同じ命なので、大切にしたいいけないということが分かりました。



山口 友也さん
命は重く大切なものだと感じました。犬や猫も人間と同じ命なのに、殺処分するのはとても悲しいことだと思います。動物と人間が、共生できる社会になるように努力したいです。



吉村 恵咲さん
ワンヘルスのことは聞いたこともなく、初めて学びました。授業で学んだことを家族に話してみたいと思います。今飼っている生き物を大切に育てたいです。



(一社)ワン・ヘルス・クリエイツ理事長 **芝田 良倫さん**

私は以前、殺処分寸前の犬や猫を引き取ったことから、ワンヘルスを知りました。犬との散歩などを通して、動物とのより良い関係づくりが健康につながることや、「命」の尊さを改めて実感しました。



日常の中にはワンヘルスにつながるものがたくさんあり、生活する環境もさまざまなので、一人一人が「わたしのワンヘルス」を見つけて、実践してもらえればと思います。

清水小 1月27日、清水小学校で5年生を対象に、ワンヘルスに関する授業が行われました。高田町で養豚業をしている梅崎聖人さんが、健康でおいしい豚を育てるための工夫や思いを話し、子どもたちは「人と動物の健康、環境の健全性は一つにつながっている」というワンヘルスの考え方を学びました。

子どもたちの感想



坂井 みずほさん
「健康な豚を育てることが消費者の健康につながる」という梅崎さんの思いが伝わりました。食事のときは「命のつながり」を意識して、感謝して食べたいです。



今村 浩樹さん
「豚の幸せを考えながら、安全安心な豚肉を提供したい」という気持ちが分かりました。自分がもし農業で動物を育てるとしたら、梅崎さんの考えをお手本にしたいです。



田嶋 理歩さん
私たちは「命」をいただいていると感じました。動物が健康であったら人間も健康であり、より良い環境の中で命はつながっているという考えを知ることができました。



養豚業 **梅崎 聖人さん**

ストレスが無いように、豚が走り回れるくらい広い豚舎で育てています。餌にはみやま市産の米を使い、消毒や餌などの管理を徹底し、豚の健康面に気をつけています。



豚肉はタンパク質やビタミンB群が豊富で、生きるうえでとても大切な栄養源。自分が育てた豚のお肉を食べた人が健康でいられるように、健康的でおいしい豚肉を提供し続けたいです。